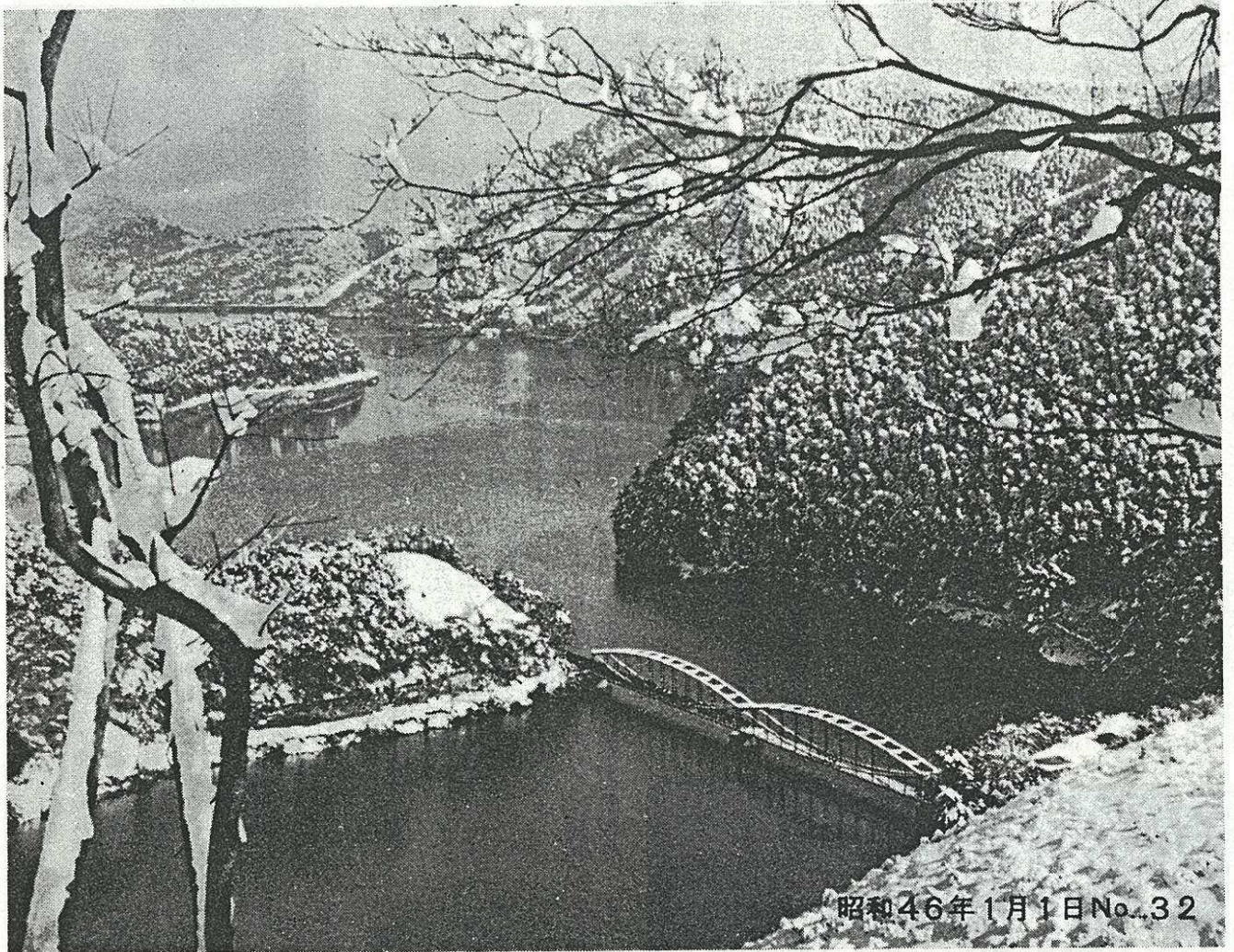


市議会だより

北九州市議会事務局



昭和46年1月1日No.32

雪の河内貯水池

新春を迎えて

市民のみなさま、あけましておめでとうございませう。

希望に満ちた新春を迎え、北九州市にとって本年は大都市形成に向けて躍進するたいせつな年であります。

百万都市にふさわしい本格的な町づくりを推進するために、昨年策定された中期計画が、いよいよ本年から実施される運びとなっており、さらには公害問題についても、きめ細かな対策の強化が緊急な課題となっております。

このときにあたり、私ども議会人として、市政の重大な諸問題を十分認識し、きれいな、すこやかな、ゆたかな町づくりを旨として、なお一層の努力をいたす覚悟であります。今後とも倍旧のご指導とごべんたつをお願いたしますとともに市民のみなさまのご健康とご多幸を心からお祈りいたしまして、年頭のごあいさついたします。

元旦

北九州市議会

議長 大庭 勇
副議長 重田 幸吉



十二月八、九日の二日間、議案に対する質疑や市政全般についての質問が本会議で行なわれました。以下、市民生活に関係の深いものを取り上げました。

自閉症児に

専門の治療機関を

議員 本市の自閉症児は推定で二百人以上いるといわれている。今後もふえることが予想されるので、症状の早期発見、早期治療のため専門の治療機関をつくり、心理療法、生活指導をする考えはないか。

また、これらの自閉症児に教育の場を与える養育学級を設ける考えはないか。

民生局長 自閉症については不明の分野が多く今後に説明が残されている。

市の教育研究所でも実態を調べているし、児童相談所でもかなりのケースを取り扱っている。

今までのところ自閉症児に対する治療としては、薬物治療ができていないので、専門の職員との一対一の心理療法しかなく、それも長時間は不可能で一日一時間程度が限

度とされている。

また、集団的な指導がむずかしいので母子学級のようなものはないか。

国としても、去る四十三年から名古屋大学に自閉症の研究を委託しているので、今後これらの研究による最新のデータを取り寄せ治療方法に役だてたい。

傷害補償制度の新設を

スポーツ行事

議員 本市では、近年体育祭や体力づくりの推進大会などが開かれているが、こうした体育行事が盛んになるにつれて、参加者の中にけが人が出ることも予想され、現にアキレスけんを切って数万円の治療費を払った人もいます。

これらの人に対する救済の方法として、なんらかの形で傷害補償制度をつくる考えはないか。

市長 体育活動だけでなく、河川の浄化運動など公共の目的に

なう活動をして、けがをされたかたもいる。

いま国でもスポーツ傷害補償事業を発足させようとの動きがあるので、その動向をみて総合的に検討したうえで判断したい。

教育長 文部省と日本体育協会が中心となってスポーツ傷害補償事業を実施しようとの計画がある。

これは、スポーツ団体が行なうスポーツ行事および社会教育団体が行なうスポーツ活動だけが人がた場合に、一定の保険制度による補償をするという考え方で、四十六年から実施の予定である。この制度が発足すれば、積極的な加入をお願いして補償問題を解決していくようにしたい。

公立幼稚園の

格差是正を

議員 公立幼稚園と私立幼稚園では保育料に大きな差があり、私立幼稚園児を持つ父母は大きな負担となっている。

この際、私立幼稚園児を持つ家庭に対し、教育費の補助を実施し園に対しても人件費等の補助を行ない、公立幼稚園の極端な格差

をすみやかに是正することが必要と思うがどうか。

市長 保育料の格差是正のために園児の家庭に対して直接補助することは、非常に大きな財政負担となり、財政硬直化の原因になりかねないので実施する考えはない。ほかの方法で私立幼稚園の助成に努力したい。

妊産婦のために

ベットの確保を

議員 現在、市内の指定産院は門司、小倉、戸畑の三か所だけで、しかも医師がいなかったり利用者には非常に少なくなっている。

12月定例会

十二月八日から四日間の会期で開かれ、十二月十一日に終わりました。審議された議案は、四十五年度補正予算をはじめ、条例の一部改正、人事議案、決議、意見書など二十一件と諮問一件です。

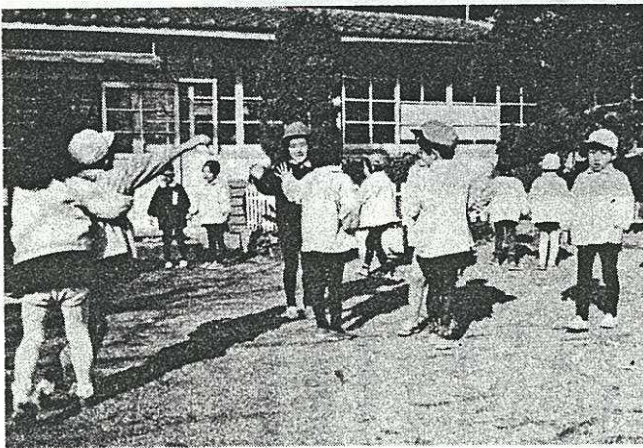
このうち、補正予算など十六件と諮問一件は、関係の常任委員会、それぞれ慎重に審議されたのち、いずれも原案のとおり承認することに決まりました。

また、人事議案一件、決議および意見書四件はただちに採決され、人事議案と「北九州港管理体系の一元化に関する決議」は可決されましたが、他の意見書二件と、決議一件は否決されました。

市ではこの利用者が少ないことで指定産院を増設しないようであるが、現に妊婦が八幡、若松方面から門司、小倉、戸畑の産院まで行くことは不可能である。

したがって市立病院にベットを確保し、妊産婦に対する便宜を図ってはどうか。

民生局長 八幡については、産院がないので、以前から市立八幡病院のベットの一部を利用してきただどうかと内部的に検討してきた。しかし、ベットの回転率の問題もあり簡単にはいかないが、少数のベットの確保なら、市立病院と相談の余地もあると思いい、新年度を目ざして検討している。



私立幼稚園

流通機構の整備を

議員 本市の中央卸売市場を中心とする一連の流通機構を整備することによって、生鮮食品の値上がりもある程度押えられるのではないかと思う。

例えば、中央卸売市場の中に流通センターを設け、消費者、生産者、仲買人、小売人の代表による価格審議会を設置して妥当な価格を決めるとか、あるいはその日の市場の生鮮食品の相場を市内各所に電光掲示板で速報するなど近代化、合理化はできないか。

市長 これまで流通機構の整備による生鮮食品の価格の安定という面から、市場問題を取り上げてきた。

来年度、新市場建設の用地買収にとりかかる予定なので、今後、新市場建設と並行して流通機構の整備に努力していきたいと思う。

受益者負担を

なくす考えはないか

下水道事業

議員 ①本市では下水道事業の受益者負担をとっているが、清掃事業、下水道事業などは住民一般を対象として、当然、市が行なうべき事業である。

受益者負担は市民に二重の負担

となるので、これをなくすべきと思うがどうか。

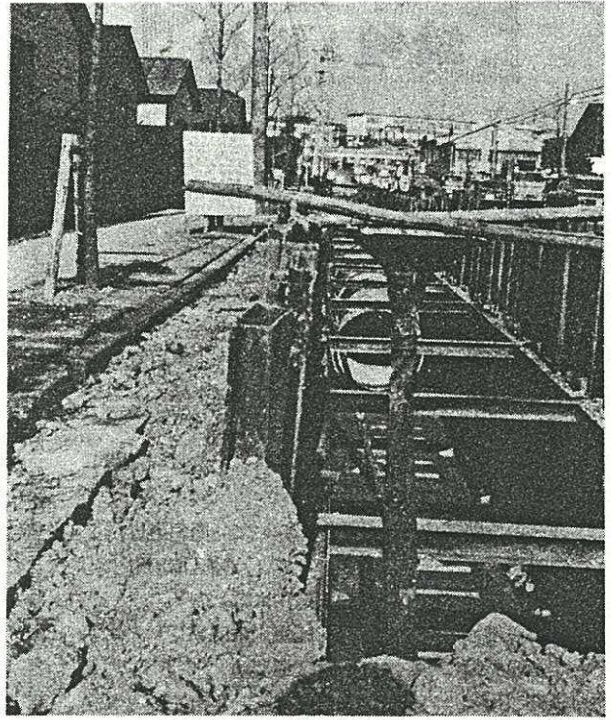
②工事にあたって関係住民から、井戸水が枯れたとか、または商店では客足が減ったとの苦情が出ているが、これに対する補償はないのか。

③下水道の使用料は無料にできないか。

市長 ①下水道事業の受益者負担は、特定の市民に経済的利益が帰属するという点をとらえてとった制度である。

②工事過程で市民に迷惑をかけたことについては、他の工事と同様、あきらかに実害の出たものには市が補償や補修をしたい。

ただ、客足が減ったというよう



着々と進む下水道工事

することがむずかしいので、補償いたしかねる。

③使用料を無料にする考えはない。

青少年の

非行化対策をはかれ

議員 最近、青少年の非行化が大きな問題となっているが、この対策として、教育委員会と教師の密接な連係が重要なことと思うがどうか。

また父母との結びつきを深めるための教師の家庭訪問も大事なことである。これに要する交通費等の予算措置も必要だがどうか。

教育委員、青少年の非行化問題は教育委員会、学校、家庭ともども

都市交通の

将来計画を検討

議員 西鉄は来年度、路面電車廃止の案を出すとの話をきくが、これは市民にとって重大な問題である。

路面電車廃止を含む西鉄の企業合理化について市長はどのように考えているか。

市長 これは陸運行政の問題であるが、市民の足ということから

けつして無関心では過されないので、将来の交通のあり方を含めて常に西鉄とは意見を交わしている。

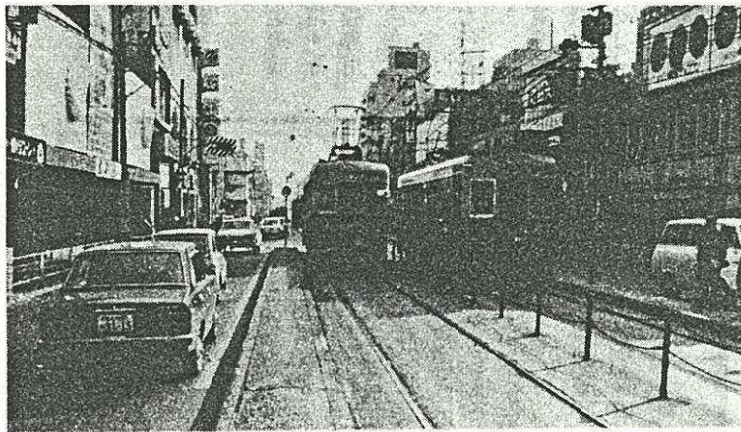
路面電車は現状では運賃に制約があり、一方ではコスト高と低ス

ピードに苦慮している等が原因で今後経営に

をつないで、一かんした対策をたて、学校の環境条件をよくすることが必要である。また、家庭訪問における先生の旅費等の経費は県費であるので、今後も増額してもらおうように働きかけたい。県費以外で支出できるそういった面の研修等については、市としては積極的に取り組んでいきたい。

は相当の困難が伴うのではないかと

（四頁へ）



市内を走る路面電車

合っており、この答申ができれば早速に計画を打ち出したいと思っ

精薄施設の

充実をはかれ

議員 ①精薄児者の施設は軽度と中度以上の区別も全くない現状である。

また、し体不自由児者の收容能力も全体の五割に満たないが、これらの対策についてどう考えているか。

②心身障害児に対して国は特別児童扶養手当制度を設け実施しているが、これとは別個に独自の制度を本市に設ける考えはないか。

③足立学園通園部には専用の通園バスがないが、この配車計画はあるのか。

市長 ①市長に就任以来、これら施設の充実を図ってきたが、こ

人事紹介

十二月定例会で、次のかたがたが選ばれました。

人権擁護委員候補者 (敬称略)

- 小倉区西鍛冶町二丁目 二村 正 巳
小倉区弁天町二丁目 辻 正 喜
若松区中畑町八番十七号 平野 興 一

請願と陳情

請願

採択されたもの

- 横断歩道設置について(小倉区神岳2)
○水道管布設について(小倉区朝日ヶ丘1)
○側溝補修等について(小倉区熊谷町6)
○道路舗装等について(小倉区熊谷町6、水道町2、沼団地、門司区中学通3、八幡区本城)
○道路拡幅について(門司区大字吉志)
○排水溝整備について(八幡区穴生、小倉区熊谷町1、6、沼団地)
○河岸の危険防止設備設置等について(門司区寺内1)
○市道認定と下水道設置について(八幡区清田町1)
○土砂排除について(門司区黒川本町)
○側溝整備等について(門司区黒川本町)
○歩道の整備について(小倉区沼団地)
○道路整備について(門司区緑ヶ丘、平山)
○道路補修について(門司区風師2)
○石段補修について(門司区風師3)
○排水溝の蓋設置について(小倉区朝日ヶ丘1)
○公園設置について(小倉区熊谷町6)
○旧小熊野川しゅんせつについて(小倉区熊谷町6)
○市道認定および道路舗装について(小倉区富野新町)
○曾根中学校舎改築について(小倉区)
○枝光幼稚園の二年保育等について(八幡区)
○大蔵公民館改築について(八幡区)
○非行少年防止対策について
○学校参観日等の改善について
○永犬丸小学校特別教室等の整備について(八幡区)
○第三永犬丸小学校(仮称)設置促進について(八幡区)
○足立小学校舎全面改築について(小倉区)

陳情

採択されたもの

- 保育所改築について(門司区恒見)
○白銀中学校舎増改築について(小倉区)
○道路拡幅について(小倉区足原、八幡区楠橋)
○陣原(瀬板)地区の市街化区域指定について(八幡区)

れで十分とは思っていない。

来年度から実施される中期計画では、一かんした精薄児者の施設の増強、あるいは心身障害児者のための中枢的機関としての福祉センターの建設などを取り上げている。

また、民間の施設の整備についても援助する方向を打ち出している。

②市独自の特別扶養手当制度については、先般、児童手当制度をつくらしたとき検討したが、実施するとの結論にはいたっていない。今度つくられる国の児童手当制度等も考えながら研究していきたい。

民生局長 ③通園バスについては来年度、国庫補助の見通しもたっているので実現させたい。

常任委員会から

十分な配慮を

市域隣接地の水道施設

各常任委員会では、補正予算、条例の一部改正など十六議案を審議しましたが、次のような要望をつけて、いずれも原案のとおり決めました。

市民の利便をはかれ

下水道整備工事

現在、市内の各所で下水道整備事業が実施されておりますが、建設委員会では、工事は市民の利便を十分考慮のうえ、計画的に実施されるよう要望しました。

本市の水道施設を水巻町住民に利用させるための議案が提案されました。

衛生水道委員会では、宅地造成のための臨時用水として申請・許可した施設が、そのまま一般専用水として使用されており、今後、このようなことのないよう、宅地造成業者に対しては、十分な行政指導を行なうこと。

さらに、最近では本市域の隣接地点において、急速に宅地造成が進められていますが、このようなどころに水道施設を利用させるときは、関係者とよく連絡をとり、都市計画法などの趣旨を十分

考えて処置されるよう要望しました。

十二月定例会で

決まったおもなもの

- ▽四十五年度補正予算 一般会計の追加 七億三、一八四万九千円
普通特別会計の追加 五、三六八万七千円
▽都市公園条例の一部改正 公園の新設、既設公園の一部の名称変更ならびに勝山公園内にミニカー場、野外音楽堂および売店を新設するもの
▽小学校条例の一部改正 ます淵ダムの建設に伴い、頂吉小学校を廃校するもの